

概要説明資料

恵那市財政計画 将来推計資料

令和4年9月(改定)

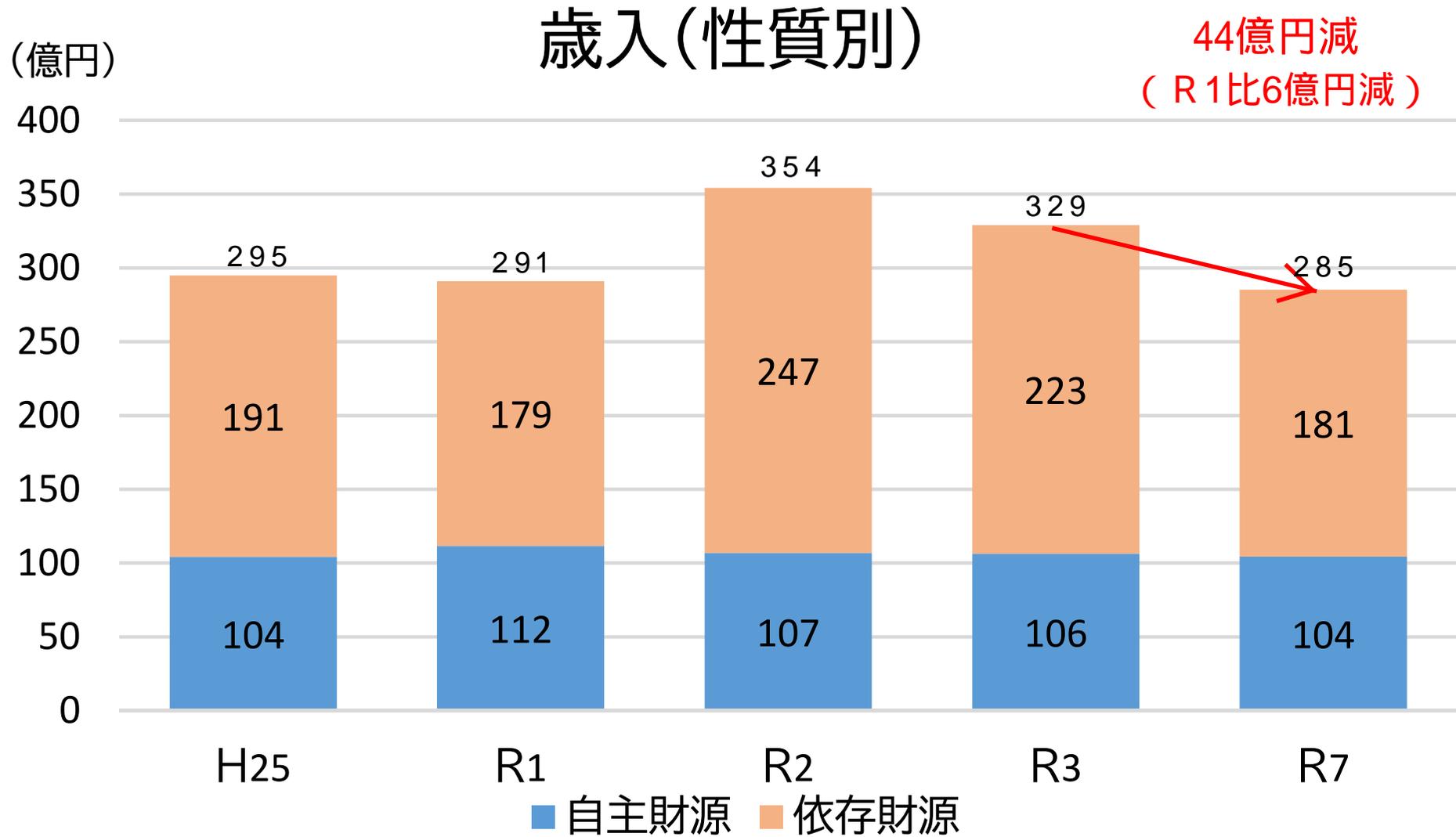
恵那市総務部財務課

恵那市の財政計画は、第2次総合計画から、その一般財源資料として作成しています。令和2年度に第2次総合計画後期計画及び第4次行財政改革大綱を策定するため、最新の決算値に更新をし、計画等の終期である、令和7年度までの財政計画を見直しました。以降毎年の決算値に更新を行い改定をしています。この中では、総合計画に位置づけられる大型の事業については、投資的経費の枠組みを設定し、その中で実施できるようにしてあります。

-令和4年度 主な改定点-

- 令和3年度決算値を反映
- 世界情勢の変化による影響により、物価上昇率を見直し
- 地方交付税総額の安定的な確保と臨時財政対策債の発行縮減の方向から交付税見込みの見直し

自主財源、依存財源ともに減少の見込み



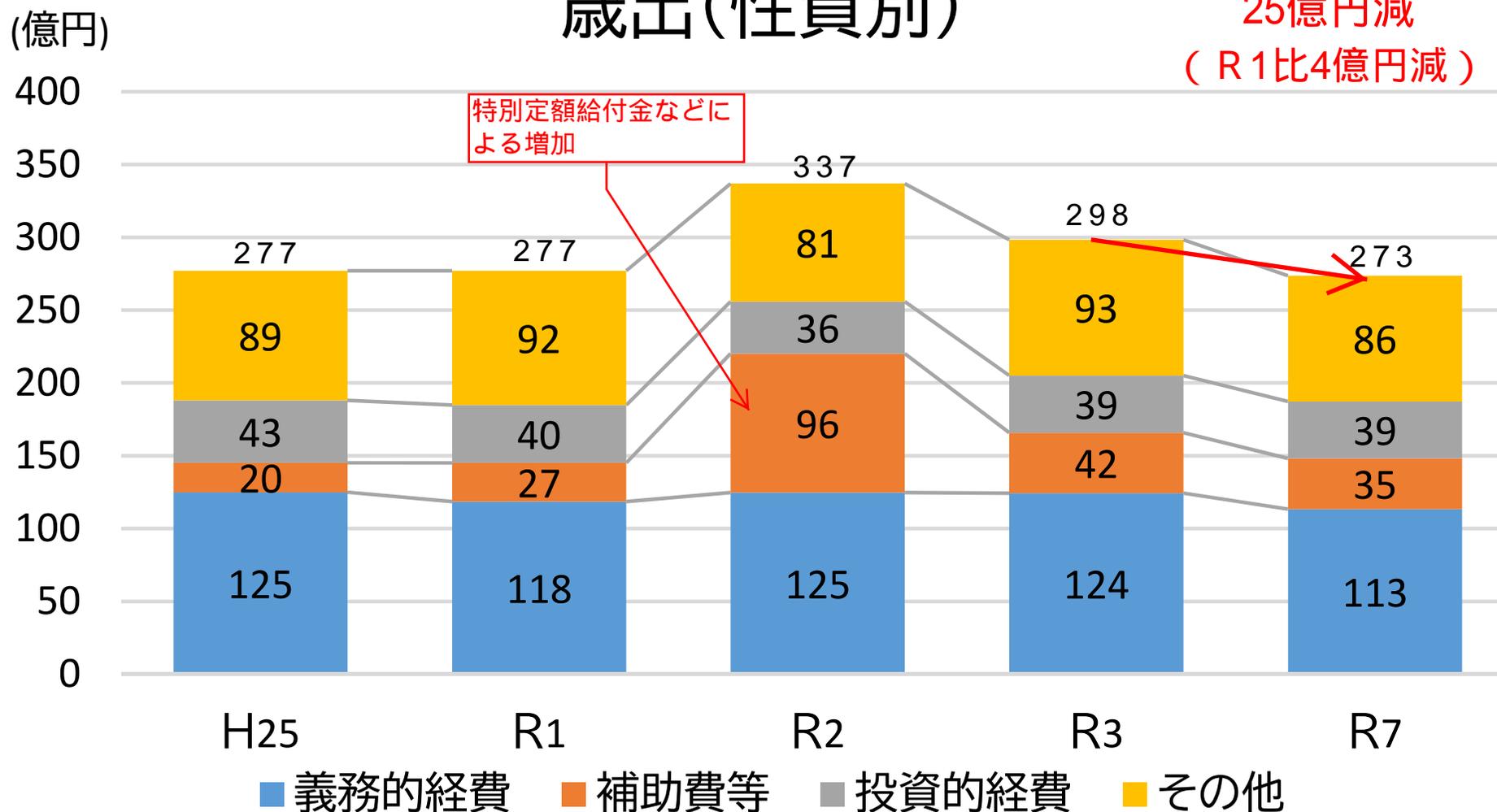
自主財源：市税、負担金、使用料、手数料など

依存財源：地方交付税、国庫支出金、県支出金、市債など

義務的経費は横ばい

歳出(性質別)

25億円減
(R1比4億円減)

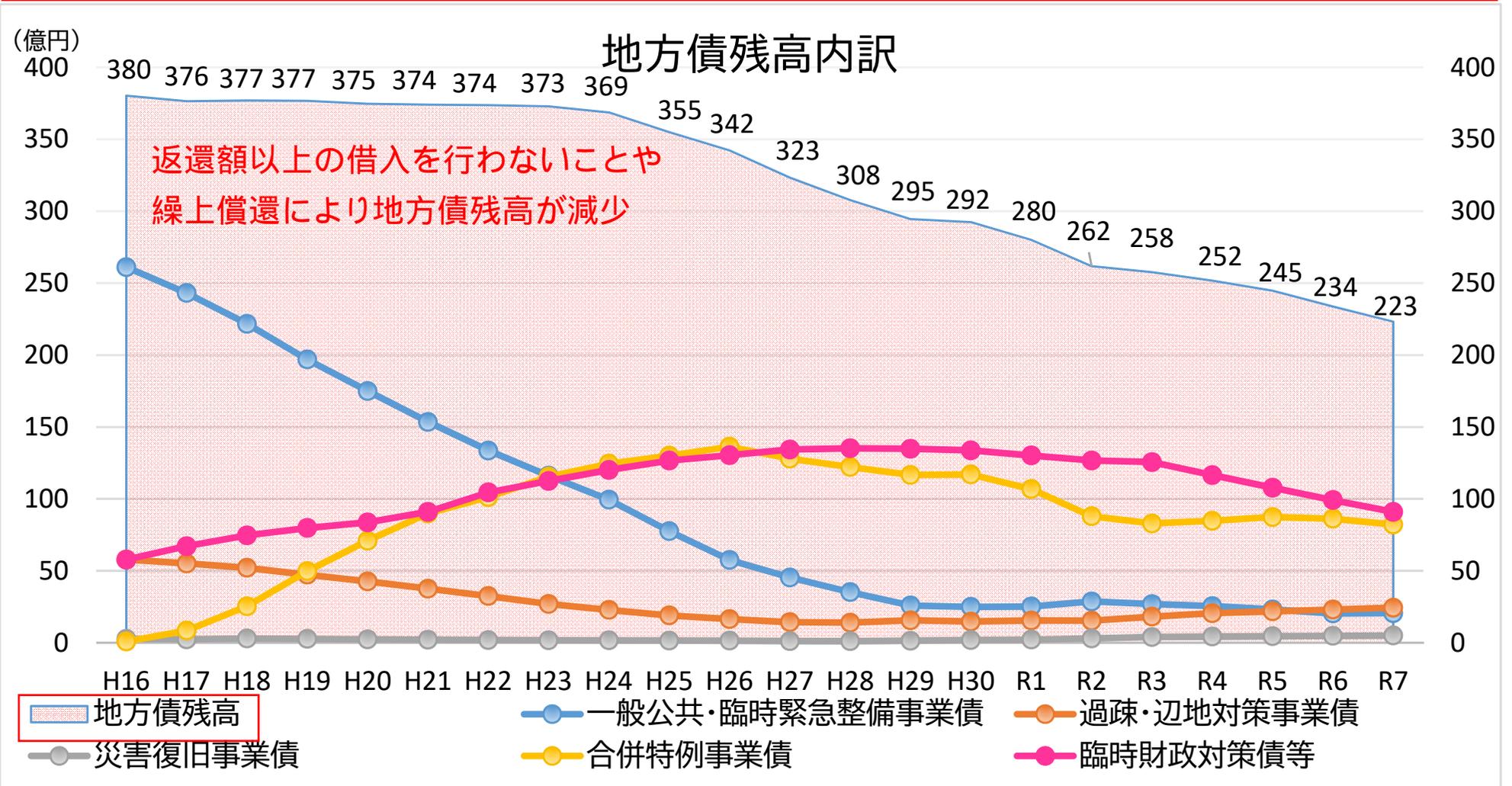


義務的経費：人件費、扶助費、公債費

補助費等：補助金や国民健康保険や介護保険をはじめとした他会計への支出金など

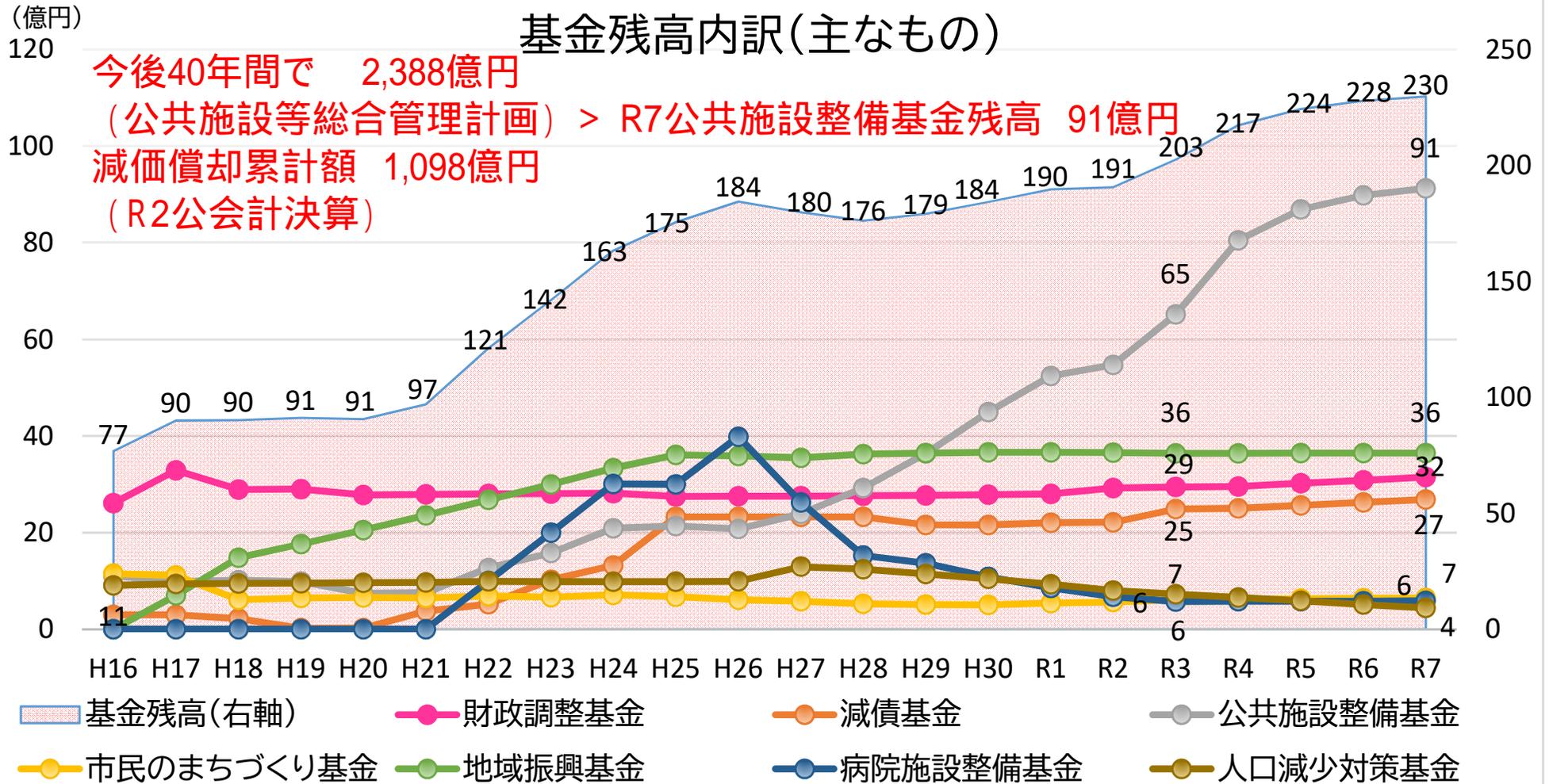
投資的経費：道路や学校など公共施設の建設や改修の経費

地方債(借金)残高は223億円に減少

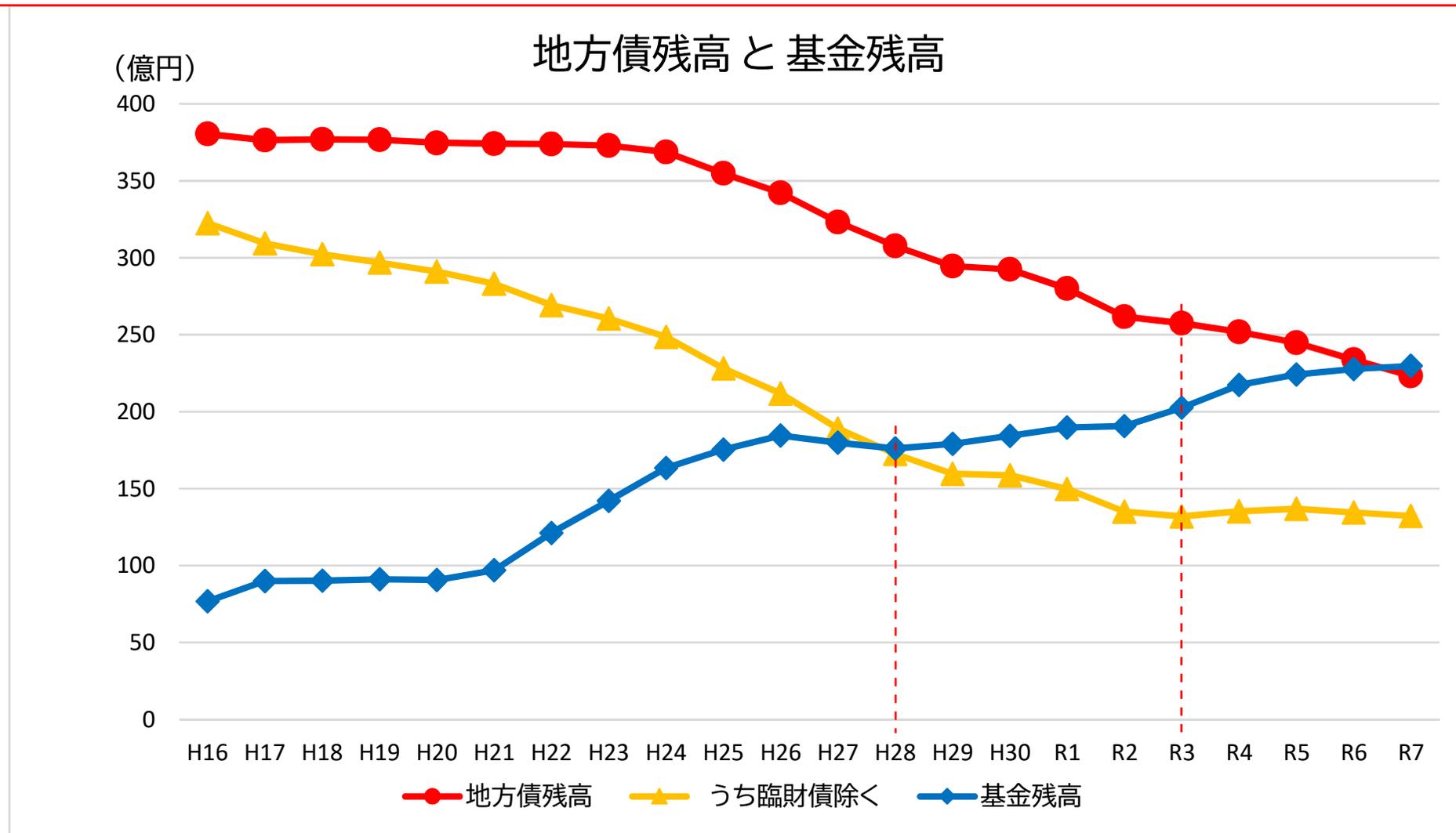


公共施設の大規模改修等

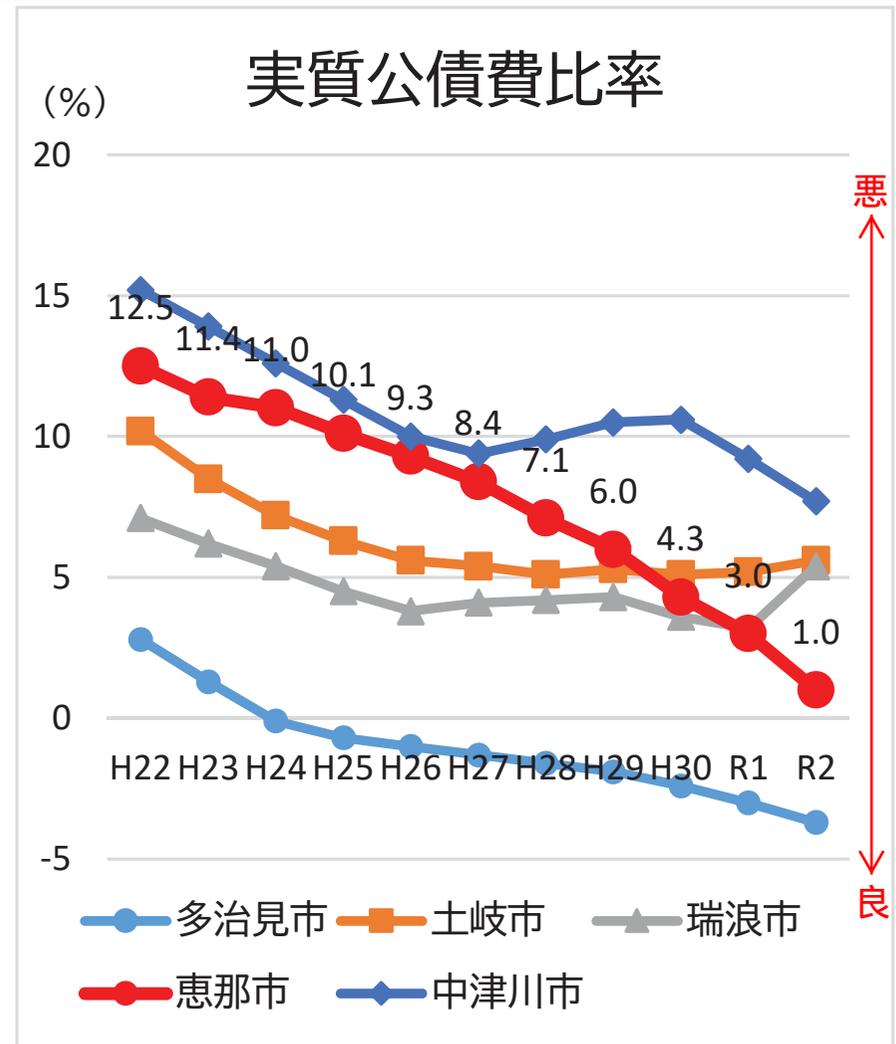
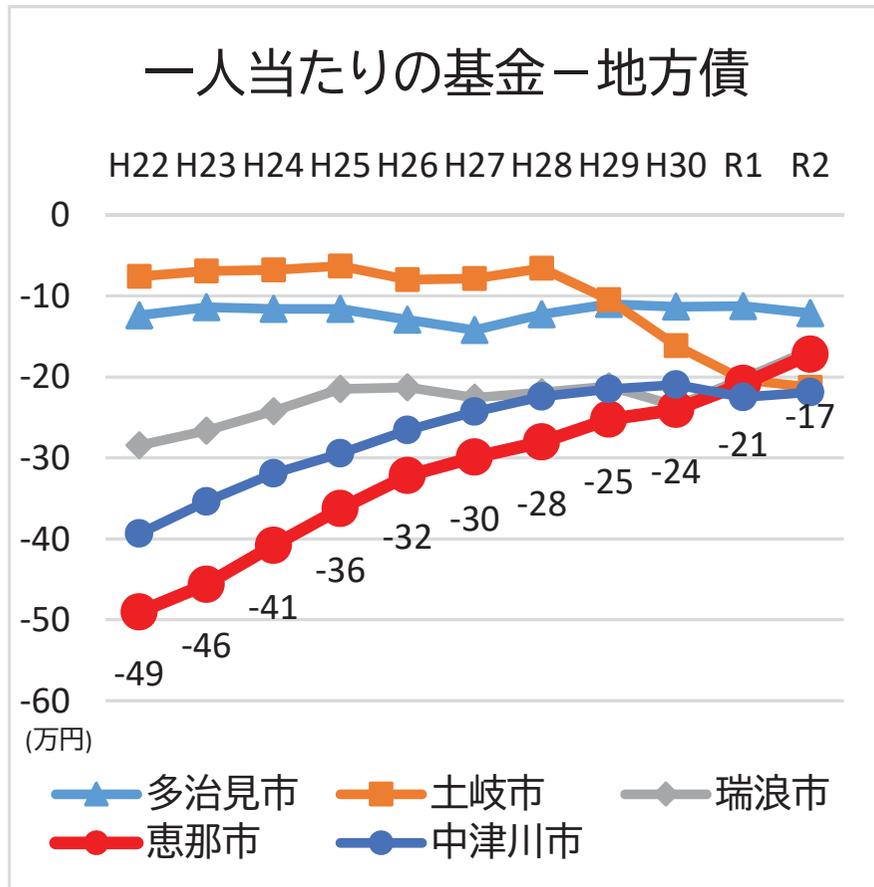
計画的に基金を活用



実質的な地方債残高(借金)は基金残高(貯金)より少ない



東濃他市比較では実質的な借金、実質公債費比率は中位



実質公債費比率：地方公共団体の借入金（地方債）の返済額（公債費）の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものです。